

抗議・申入れ書

全原発の再稼働審査を止めて、イチエフ汚染水対策・廃炉化に専念せよ！
「トイレ無きマンション」の解消に専念せよ！
「新規制基準」を作り直し、川内原発の再稼働審査をやり直し、改めて地元住民同意を得よ！

2014年10月15日 再稼働阻止全国ネットワーク

私達は、原子力規制委員会に対して、発足以来からずっと「再稼働審査は止めて放射能汚染水対策に専念せよ！」と訴えてきた。しかしながら、規制委がこの2年間に優先的にやってきたことは、2012年10月の「原子力災害対策指針」の制定、2013年6月の軽水炉原子炉「新規制基準」の制定と7月の施行、同年11月の核燃料施設等「新規制基準」の制定と12月の施行である。すなわち、既存の原子力施設の稼働を促進することである。そのことが、福島第一原発の状況を隠蔽し悪化させた。

原子力規制委員会は「国民の生命、健康及び財産の保護、環境の保全並びに我が国の安全保障に資することを目的」として設置された。設置目的に照らせば、規制委がまずやるべきことは、東電福島第一原発事故の収束と廃炉化であり、半世紀に渡る原発稼働で貯まった末代にまで影響する核燃料の保管・管理と場所の確定すなわち「トイレ無きマンション」の解消である。

これらについて、規制委の現在の認識を問い以下に強く要請する。

1 東電福島原発事故の収束と廃炉化に専念せよ！

(1)放射能汚染水対策に専念し、状況を常に民衆に分かるように明らかにせよ！

今どれだけ貯まっているのか、毎日どれだけの放射能汚染水が貯まって毎日どれだけ海に流出しているのか？ 汚染水タンクの数と保存汚染水の量はどれだけで、毎日どれだけ増えているのか？

(2)イチエフ4基の廃炉化に専念し、特に核燃料の状況を常に誰にも分かるように明らかにせよ！

1号機から4号機の核燃料はどのような状態と推測しているのか？ 廃炉への工程は本当に実現可能か？

(3)被爆労働者の状況を明らかにし、総ての作業労働者に被爆手帳を持たせよ！

今までどれだけの労働者に被爆を強要したのか？ これからどれだけの人に被爆労働を強いるのか？ 被曝労働者の障害の医療補償をしているのか？

2 日本学術会議の提言に従い使用済み核燃料の保管・管理と場所の確定に最優先で取り組み！

日本学術会議は、2012年9月の提言で、国民の間で高レベル放射性廃棄物総量の保管・管理をどうするかを決めてから原発の利用を検討するべきであると述べ、年内にも同様の提言が出される予定だ。規制委はどうしてこの指摘を実行しなかったのか？ 今後の取り組み予定は？

3 「新規制基準」を作り直し、川内原発の再稼働審査をやり直し、改めて地元住民同意を得よ！

今までに何度も「新規制基準」の問題、審査の問題を指摘してきた。今回は地元住民理解について問う。株主総会のように威圧的で独善的で強引な5回の「住民説明会」で住民の理解を得られたとは思えない。最低でも福井地裁が例示したように川内原発から250kmの範囲に含まれる各自治体で住民が納得でき意見を述べられる「住民公聴会」を実施して住民の真の同意を得るべきだ。今後の予定は？

以上、原子力規制委員会・原子力規制庁に強く申入れするとともに、後日回答を求める。

再稼働阻止全国ネットワーク

<http://saikadoshinet.sakura.ne.jp/>

TEL 070-6650-6549 FAX 03-3238-0797

メール info@saikadoshinet.sakura.ne.jp

東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ会館付